

# 東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合  
横浜地方本部  
発行者/小清水和彦  
編集者/教育・広報部

## 横浜支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について(その4)の提案を受ける

4月25日、横浜支社より『横浜支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について(その4)』の提案を受けました。提案の説明として、系統を超えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていく必要があるため、これまでの役割分担にとられない柔軟な働き方を実現していくと説明がありました。

### 1. 実施内容

「川崎・鶴見統括センター(仮称)」「横浜営業統括センター(仮称)」「町田営業統括センター(仮称)」を現業機関として新設

### 2. 実施箇所

#### (1) 川崎・鶴見統括センター(仮称)

川崎駅(拠点駅)、鶴見駅、尻手駅、武蔵小杉駅、武蔵中原駅、武蔵溝ノ口駅、登戸駅、鶴見線営業所

#### (2) 横浜営業統括センター(仮称)

横浜駅(拠点駅)、戸塚駅、大船駅、鎌倉駅、逗子駅

#### (3) 町田営業統括センター(仮称)

町田駅(拠点駅)、東神奈川駅、菊名駅、新横浜駅、小机駅、長津田駅

### 3. 実施時期

2023年3月(予定)

### 4. その他

- (1) 各(営業)統括センターの円滑な運用に向けて、関係社員への兼務発令や実施に向けた必要な教育、実施箇所での業務の融合に向けた試行のための勤務種別変更などを行う。
- (2) 各(営業)統括センターの体制については、別途提案を行う。

### 提案交渉で明らかになったこと

- ・横浜支社管内全てのエリアが統括センター・営業統括センターとなる。
- ・川崎・鶴見統括センター(仮称)内の乗務員区は鶴見線営業所だが、川崎運輸区については兼務・連携となる。横浜営業統括センター(仮称)は大船運輸区が兼務・連携となる。
- ・町田営業統括センター(仮称)のエリア内に乗務員区はないが、違う箇所の乗務員区との兼務・連携は有りえる。
- ・兼務については、乗務員が駅の業務を担うことや、駅社員が車内改札をすることになれば、基本的には兼務発令をずっと考えている。(※統括センター及び営業統括センターの社員が他の箇所で業務を担う場合や、川崎・相模原・横浜・大船・国府津運輸区の社員が統括センターや営業統括センターで業務を担う場合)
- ・社員周知について、「変革2027」の実現に向けた組織再編の中だと考えている。

**桜木町営業統括センター、湘南・相模統括センターの検証と、7月1日に  
新設予定の小田原・伊豆統括センターと共に、今提案について考えよう!**